

お腹いっぱいのおとで ハンガリー語講座

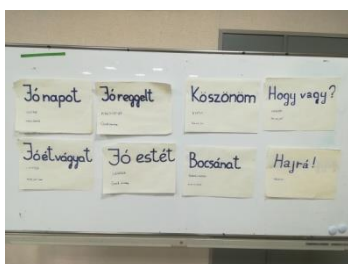
平成 30 年 11 月 6 日 (火)

11 月 2 日 (金) の夕方、「アー ユー ハンガリー？」で始まる食堂がありました。

津島高校に短期留学生として在籍しているクリストフ君が「子ども食堂」のお手伝いをしたのです。彼はハンガリー出身で、今年の 9 月から約 3 ヶ月本校に留学しています。わずか 2 カ月しか経っていませんが、日本語はほとんど理解できており、津島高校では、ハンガリー語と英語を交えながら充実した学校生活を送っています。



今回出かけたのは、「愛西市町方ふれあい子ども食堂」です。そこでボランティア部の一員としてお手伝いをしてきました。まず、スタッフの方々が作った手料理を子供たちの皿によそいます。「テンプラ イカガデスカ?」、「コレヲ サラニ ノセマショウカ?」と会話をしながら盛っていきます。愛西市のマスコットキャラクター「あいさいさん」のエプロンもよく似合っていました。ただ、長身の若者にとっては、料理が置いてある机が子供たちに合わせてやや低いため、腰に負担がかかったようで、40 分ぐらい経ったところで本校の女子生徒に交代しました。



建物の 1 階に下りてきて少し休憩したら、次はハンガリー語講座です。日常会話が書かれた紙（クリストフ君自作です！）をホワイトボードに貼って、子供たちに教えてくれました。この紙は、いつもは所属している教室内に貼ってあるのですがこの日のために持ち出したのです。子供たちは普通のアルファベットとは異なる文字を見ながらクリストフ君の発音をまねていました。



この日は午後 7 時ぐらいまで活動を手伝ってくれました。週末には、弓道部で生徒と一緒に練習したり、ホストファミリーと名古屋城に出かけたりすること。一方で、ハンガリーに帰国してから学校の学習についていくために、日本で数学や化学の勉強をしているそうです。日本にいても、夕食後でも、ハンガリー精神が旺盛なクリストフ君でした。